狂犬病予防集合注射を受けましょう

今年も4月から5月にかけて、狂犬病予防集合注射を行います。狂犬病予防注射は毎年1回受けさせなければなりません。

生後91日以上の犬を飼っている方は、狂犬病予防法により、犬の登録（犬の生涯に1回）と狂犬病の予防注射（毎年1回）が義務付けられています。

◇案内通知が郵送される方

平成22・23年度に注射済票の交付を受けている方には、問診票等を郵送しますので、必要事項をご記入のうえ必ず持参してください。

◇案内通知が郵送されなかった方

登録をしていて、案内通知が郵送されなかった方も、集合注射会場で手続きはできます。その場合は鑑札など登録が確認できるものを持参してください。

◇費用

▼犬の登録をしている場合＝3，350円（注射済票交付手数料550円・注射料金2，800円）

▼新規に犬の登録をする場合＝6，350円（登録手数料3，000円・注射済票交付手数料550円・注射料金2，800円）

◇注意

▼集合注射会場には、飼い犬を制御できる方が連れてきてください。

▼ふんの後始末などは、飼い主が責任をもって行ってください。

▼問診の結果、注射ができない場合があります。その場合は、後日、健康状態のよいときに別の会場、または動物病院で注射を受けてください。

▼動物病院で狂犬病予防注射を受けた方は、集合注射会場では、手続きできませんので、動物病院から発行された狂犬病予防注射済証を持って、生活環境課で手続きをお願いします。

申・問生活環境課環境対策班
☎(70)0386

狂犬病予防集合注射日程表

集合注射実施日	実施時間	会　場
4月10日（火）	9:10～ 9:30	萱野青年館
	9:50～10:30	ながた野第3公園
	10:50～11:50	弥幾野自治会館
	13:20～14:50	中部コミュニティセンター
4月13日（金）	9:30～10:30	みどりが丘自治会館
	10:50～11:40	農村ふれあいセンターやまべの郷
	13:20～14:00	季美の森もえぎ公園
	14:20～15:00	季美の森こはく公園
4月18日（水）	9:10～ 9:40	柳橋公民館
	10:00～10:30	桂山公民館
	10:50～11:50	清名幸谷消防機庫
	13:30～15:00	みずほ台センター公園
4月20日（金）	9:30～10:40	老人福祉センター「コスモス荘」
	11:00～11:40	汐浜公民館
	13:10～14:10	白里公民館
	14:30～15:00	細草8区青年館
5月9日（水）	9:30～11:30	中部コミュニティセンター
	13:20～15:00	白里公民館
5月12日（土）	9:30～11:30	保健文化センター前

第33回東金線市町民号

東金線は、明治44年11月1日に全線開通し、昨年100周年を迎えました。

この東金線の利用促進と沿線住民の方々の親睦を深める場として、例年実施している東金線市町民号。今年は、お座敷電車「華号」で行く「新緑の上州路と浅間山　名湯草津温泉の旅」です。

▶日程＝5月27日(日)・28日(月)1泊2日
▶宿泊先＝草津温泉「ホテル櫻井」
▶主な見学地＝中之条ミュゼ（歴史と民俗の博物館）、浅間酒造観光センター、鬼押出し園
▶募集人数＝150人（最少催行人数120人）
▶参加費＝34,000円
▶主催＝東日本旅客鉄道株式会社（東京都知事登録国内旅行業第2-2743号）

申・問JR大網駅　☎(72)0054
企画政策課政策推進班
☎(70)0315

千葉県動物愛護ボランティアを募集

▼対象＝千葉県内に在住、在勤、在学していて、5月27日(日)の講習会（千葉県教育会館で開催）を受講できる方
▼募集人数＝200人（前年度からの継続希望者を含む）
▼募集期間＝4月20日(金)まで
▼活動内容＝動物の適正飼養に関する普及啓発、動物愛護センター等が開催する譲渡会・飼い主さがしの会・動物愛護教室等への協力など
▼活動期間＝講習会受講後から平成25年3月31日(日)まで（継続は可）
▼申込方法＝ボランティア登録申請用紙を千葉県ホームページ（URL http://www.pref.chiba.lg.jp/）からダウンロードするか、動物愛護センターや各保健所の窓口で受け取り、必要事項を記入のうえ、郵送・ファクスまたはEメールで応募

申・問〒260-8667
千葉市中央区市場町1-1
県庁衛生指導課
☎043(223)2627
FAX 043(227)2713
✉eisi3@mz.pref.chiba.lg.jp

「あおぞら農園」利用者を募集

市民農園「あおぞら農園」では野菜がすくすくと成長し、豊かな実りが利用者の食卓を潤しています。

健康増進にも最高。野菜作りをしてみたいと思っている方、ぜひ「あおぞら農園」で収穫の喜びを味わってみませんか。

〈施設概要〉

▶場所＝大網白里町大網1875番地1
▶設備＝管理等（休憩スペース・トイレほか）、給水施設、農具完備
▶一般農園区画＝1区画15㎡（1人2区画まで）
▶利用料＝年間6,000円

※空き区画がなくなり次第、受け付け終了となります（先着順）

申・問産業振興課振興班
☎(70)0345

大網白里考古学エレジー　シリーズ①

「大網白里の発掘事始め」

大網駅の丸木舟

今から四十一年前の昭和四十六年五月十六日、大網駅の高架工事に際して橋脚の基礎工事を行っていたところ丸木舟が発見されました。「小中川の堤道から約五m離れた水田の下、深さ約二mの泥炭層中から杭を打ったように出土した」と伝えられており、保存処置が行われた後、県立安房博物館（現在の館山市立博物館分館）に展示されることとなりました。

この丸木舟は全長四・二m、幅が約六〇cmであり、九十九里地域の低地遺跡や丸木舟の研究で知られていた慶應義塾大学の清水潤三教授により、縄文時代と古墳時代の過渡期的な特徴を有していることから、弥生時代の丸木舟ではとされています。

上貝塚の発掘調査

清水教授と大網白里町の関係はこれより十八年前、昭和二十七、二十八年に慶応義塾大学大学院社会学研究科により実施された、九十九里沿岸漁村の総合調査に際し、現在の増穂北小学校の東側に位置している上貝塚遺跡を発掘調査したことが契機となっています。

▲清水教授による検証風景

清水教授はこの際の成果を昭和三〇年に「九十九里沿岸に於ける低地遺跡の研究（予報）」『史学』第二七巻第四号として発表され、この中で『（縄文時代）中期の遺跡としては本納町橘神社境内と上貝塚貝塚を挙げることができる。・・・後者は平野ただ中の「丘」に存し、標高は八m前後である。而も上貝塚に於いては自然貝層の直上から遺物を出す点から推して、陸化間もない頃形成されたことがほぼ確実であり、縄文中期の海岸線は今日の標高八m以下には進出していないと見ることが可能となるであろう』と述べられています。

ところで、この調査の目的は縄文海進以降六千年間の間に、九十九里浜が陸化してきた経過を調べることが目的の一つでした。清水教授は前記予報の中で九十九里浜の形成過程を「隆起運動が継続的、等量的な運動ではなく、急激な断続的なもの・・・」と位置付けていましたが、近年のボーリング調査や地中レーダーによる研究成果でも「間欠的に一回につき一m程度の（海面）低下が数回認められるということから、一，〇〇〇年周期の地震隆起によるもの」と推論されており、この推測が裏付けられています。

生涯学習課生涯学習班